

めざす子ども像 **人との出会いを通して****地域で学んだことを誇れる子ども**

**取組目標** 多様な世代の地域住民の絆がつながるようにする。安心でのびのびと自分を発揮できる環境をつくる。顔が見え、声を掛け合える地域を目指し、それぞれの防犯防災意識を高める。次世代を担う若者を育む環境をつくる。

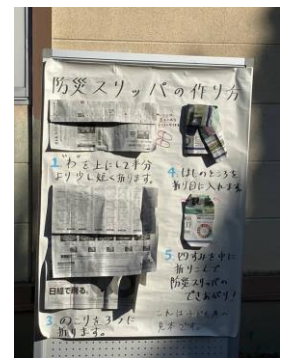
**【今年度の取組紹介】**

**<大学生参画事業>** 奈良女子大学、奈良教育大学の学生3名を地域教育協議会のスタッフとして受け入れ、中学校で開催の「夏期補充学習講座」「しぶ柿に学ぶ事業」のワークショップ、「さわやかフェス 2022」を開催しました。

日々の学業が忙しい学生さんとはSNSを使ってワークショップの準備・行程等を情報共有や意見交換をして当日に備えました。

ワークショップでは、参加する子ども達を笑顔で迎え様子を見守りながらも丁寧に柿の扱い方や手順などを指導していました。

さわやかフェスでは防災工作とクイズの担当をし、参加者に分かりやすい模造紙の掲示物を事前に作成しました。中学生とは年齢も近いので兄弟のように仲良く談笑しながら協力して行事進めていました。また防災の取組に興味を持ち、自ら熱心に参加者と一緒に学んでいました。



**【今年度のまとめ】** 地域の大人ばかりのところに大学生が加わることで、活動に活気と笑顔が増えました。コーディネーターやボランティアとワークショップの準備等をしていても機敏に動いてくれるのでスムーズに作業をすすめることができました。

事業に参加した生徒や児童にも、年齢が近いと親しみやすいので質問等もしやすいようでした。教員を目指す大学生を地域教育協議会に受け入れ、活動をともにすることで、学校や子ども達のためにボランティアなど地域の協力を体感してもらい、将来に経験を活かすことができたらと思います。

**【来年度に向けて】** 大学生参画事業による大学生の受け入れは学生にとっても協議会にとっても良い事なので、次年度も引き続き事業を継続していこうと思います。

コロナ感染対策であったり学生が多忙であったりとなかなか企画会議の段階で顔を会わせて出来なかったのが、若者の意見を取り入れて事業を充実させたいです。

「しぶ柿に学ぶ事業」は先人の知恵を次世代につなぐものなので、子ども達にわかりやすく伝えていけるように学生と工夫していきたいと思っています。

めざす子ども像

人との出会いを通して、地域で学んだことを誇れる子ども

**取組目標** 多様な価値観と接する中で、自主的に行動し、地域に誇りを持ち、貢献できる生徒を育てる。仲間と積極的に学び高め合い、豊かな感性で、自分の思いを伝え、社会で自律的に生きることができる人材を育てる。

## 【今年度の取組紹介】

毎年恒例となっている花植えを今年も令和4年7月に2年生、12月に1年生が、地域やPTAの方々と共に行うことができました。生徒たちにとって心に残る行事となりました。その後も生徒たちは仲間と共に協力し、お花を大切に慈しみ育てる取組を行いました。地域で決める学校予算事業が子どもたちの情操教育に繋がっていることを認識でき大変嬉しく思います。来年度も引き続きこの取組を行いたいと思っています。

今年度は3年ぶりに寺子屋事業を再開できたことも大きな自信となりました。地域ボランティアの方々の協力で子どもたちの基礎学力定着、学習に対する意識も向上しました。

その他、読書活動推進事業、防災体験活動、夏休み補充学習事業、仕事の専門家から学ぶ事業、障がい者・高齢者理解・体験事業などの取組もすることができました。

来年度も更に積極的な取組を進めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。



## 【今年度のまとめ】

今年度もコロナ禍の中何ができるかを地域と学校が全力で考え知恵を出し合った1年でした。コロナ対策に関して少しずつ分かってきたこともあり、より積極的に行事を進めることができたと思います。こうした連携を通し、学校と地域の絆がより強まったと感じています。

地域の方々と共に行った花植え、図書室の環境整備と整理、図書室開館の工夫、防災食作り体験など、コロナ禍の中であっても地域と学校が共に計画を立て、より前向きに積極的に取り組めたことは、二名中学校区にとって大きな自信となりました。地域の方々や学校の思いは、確実に生徒たちに伝わり成長の糧となっています。

## 【来年度に向けて】

新型コロナウイルス感染拡大防止対策と並行していかに行事を行っていくのか、これまでの本校の地域の方々と共に創り上げた良き伝統をどのように継承していくのか等まだまだ課題はあると思いますが、これまでの地域の方々と協力連携した活動に自信を持ち、前向きかつ積極的な取組を遂行していきたいと思っています。

めざす子ども像

人との出会いを通して、地域で学んだことを誇れる子ども

取組目標

- ・地域の方々やゲストティーチャーの支援のもと本物を体験し、地域を愛する心、生きる力を育むとともに、自ら考え行動できる児童を育てる。
- ・読書活動等を通して、読書に親しみ、豊かな心と言語力を育てる。
- ・校内の「あいさつ運動」に加え、登下校時、地域の方々と元気にあいさつを交わすことで地域との関係を深めるとともに、自尊感情やコミュニケーション能力を高める。

## 【今年度の取組紹介】

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、活動方法について、地域コーディネーターと検討を重ねました。そして、子どもたちや関わっていただく方々の安全を第一に活動を進めました。

教育支援事業として、家庭科等実技教科をはじめニーズに沿って学習支援に入っていました。きめ細かな支援をいただき、子どもたちは安心して活動することができました。今年度はゲストティーチャーから直接学ぶ機会も設け、体験から豊かな学びが生まれました。

また、図書環境事業として、図書修復や図書室環境を整備していただきました。子どもたちの読書への興味がより高まり、言語力育成につながりました。

多くの場面で地域の方に支えられ、教育活動の充実につながりました。



## 【今年度のまとめ】

新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、工夫をしながら子どもたちと地域の方が出会い、活動することで、子どもも大人もこの地域での存在意識を感じることができました。学校と地域が協働して、「本物を体験し、地域を愛する心、生きる力を育むとともに、自ら考え行動できる子どもを育てる。」という目標に向けて、よりよい学びの構築のため時間や思いを共有できました。

## 【来年度に向けて】

学校と地域がねらいを共有し、協働して、本校の「めざす子ども像」「取組目標」を具現化できるように努めたいと思います。状況に応じた内容や取り組み方の改善を図って、継続可能な事業の展開をめざします。

## めざす子ども像

**人との出会いを通して、地域で学んだことを誇れる子ども**

## 取組目標

見守り等に感謝する心を育て、自尊感情・地域への愛着を醸成する  
 地域の人と関わる活動を通して、様々な人との関わり方を学ぶ  
 環境整備を通して、活動の意義や自分のできることに気づき、行動する

## 【今年度の取組紹介】

## □地域の方々との交流

二名小学校では、地域ボランティアの方に教育活動を支えていただいたり、多くの学年で地域人材をお迎えしての授業を行ったりしています。コロナ禍ではありますが、行い方を工夫し、昨年より多くの地域の方との交流ができました。

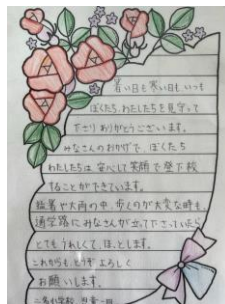
(今年度の授業)

- ・ 絵手紙教室、富雄川についてのお話を聞く会、どんぐり工作教室、声楽出前教室

子どもたちにとっては、地域の歴史を知ったり、地域で活躍している方々の存在を知ったりすることができる貴重な機会となりました。地域の方々も、コロナ禍において子どもたちとの触れ合いが減ってきている中でこのような機会があることはとても良いことだと、喜んでおられました。

## □地域の方への感謝の気持ちを形に

二名小学校には、見守り活動団体がたくさんあります。暑い日も寒い日も、子どもたちの安全のために見守り活動をしてくださっている方々へ、感謝の気持ちを込めた贈り物を制作しました。コロナ禍にあって子どもたちが直接お渡しすることはできませんでしたが、自分たちを見守って下さっている方々がいることを実感する良い機会となりました。



左：富雄川の歴史を聞く会

右：見守り活動をして下さる方々への贈り物

## 【今年度のまとめ】

コロナ禍だからこそ、地域の方々とのつながりが薄れないように工夫して様々な活動ができました。地域の方々にとっても、二名小学校の子どもたちとの交流の機会があることがとてもうれしいとお言葉をいただきました。

## 【来年度に向けて】

二名小学校には、子どもたちの安全を見守ってくれる方々、学びを支えてくださっている方々がたくさんいます。地域の昔の様子を聞く機会や、地域の方々がもっている技術にふれる機会は、子どもたちの学びをより豊かなものにしてくれます。来年度も引き続き、地域の方々とのつながりを密にし、地域の方々を学校にお招きする機会を増やしていきたいと思っております。

めざす子ども像

## 人との出会いを通して

## 地域に学んだことを誇れる子ども

取組目標

人と関わることを喜び、楽しく活動する子どもの育成

### 【今年度の取組紹介】

保育支援事業 《 二名おはなし会 》

未就園児親子や園児が地域の方と一緒に、ゲストティーチャー（二名おはなし会）から、パネルシアターや素話、ペープサートなどをしていただくのを見たり聞いたりしました。毎回、「今日は、どんなお話かなあ」と楽しみにしていました。抑揚ある語りに引きこまれ、お話の面白さを感じることができ、聞く力や想像する力につながりました。



環境整備事業

地域のボランティアの方と一緒に、花壇やプランターに季節の花を植えました。花の苗や球根を丁寧に植え、毎日の水やりや肥料をあげる事などの世話が必要という事を教えていただき、命の大切さも学びました。色とりどりの花が咲き、和やかな優しい気持ちになりました。



### 【今年度のまとめ】

- ・コロナ禍の中で感染拡大防止対策を行いながら、昨年できなかった事業も行うことができました。子ども達は様々な活動を経験し、地域の方々やボランティアの方々の温かい気持ちに触れ、人とかかわる心地よさや感謝の気持ちを持つことができました。地域の方々の協力を得ての取組は子どもたちの豊かな学びにつながり、保育・教育の充実を図ることができました。
- ・体験活動事業（お茶会）では、作法やお点前の仕方、お軸、生け花などについて教えていただきました。園児お茶会はご自前で、お茶会参観では、園児達が点てたお茶を、自分の保護者にふるまいました。畳と毛氈を敷いたリズム室はいつもと違った雰囲気、緊張しながらも自分たちで点てたお茶は格別なようで「おいしかった」と感想がでていました。お茶会の雰囲気を味わい、日本古来の伝統文化に触れる貴重な体験になりました。

### 【来年度に向けて】

園児が減少していく中ですが、地域の教育力を活かした保育内容を工夫し、地域の方々や保護者の協力をいただきながら子ども達が感動体験できる事業を継続して進めていきたいと思えます。

また、各取組で学んだことや感動体験を、日々の遊びの中に活かし、より保育を充実させていきたいと思えます。

めざす子ども像

## 人との出会いを通して 地域で学んだことを誇れる子ども

取組目標

心豊かにたくましく地域の中で生きぬく子どもの育成

## 【今年度の取組紹介】

## 《ふれあい交流事業「民生委員さんと遊ぼう」》

民生委員さんが来園し、子どもたちに「こぶとりじいさん」のペープサートを見せてくださいました。お話に合わせてペープサートが動いたり絵が変わったり、歌や効果音などで楽器になる様子に、子どもたちは、お話の世界に引き込まれ、登場人物と一緒に体を動かしたり手拍子をしたりして楽しんでいました。「いろいろな音が聞こえておもしろかった」「こぶが二つになったところがびっくりしました」と感想を伝えたり、お礼の気持ちを込めて手作りのペンダントを渡したりして民生委員さんとのふれあいを喜んでいました。また「ペープサートってこんな風になっているんだね」とペープサートや使われていた楽器に興味をもち、後日、子どもたちの遊びの中で「民生委員さんが使っていたでんでん太鼓をつくったよ」「こうしたら音になるよ」と嬉しそうに見せる姿も見られました。また、5歳児は、ペープサート遊びから「民生委員さんはこんな風をしていたよね」「音を鳴らす人・言葉を言う人、ペープサートを動かす人に分かれてやろう」とクラス全体の活動となり、学期末の生活発表会でペープサートを使ったお話を披露する姿に繋がりました。



## 《体験学習事業「柿渋染めをしよう」》

地域コーディネーターの方に二名中学校区で取り組まれている「柿渋染め」を教えてもらいました。手作りの紙芝居を見せてもらいながら「柿渋」について教えてもらった後、園庭で一人ずつ白い布を柿渋液につけました。地域コーディネーターの方が染めていく様子を子どもたちに丁寧に伝えて下さったことで「わー！色がかわっていく」「オレンジだと思ったらちょっと違った」と感じたことを話し、柿渋染めに興味をもち不思議さやおもしろさを感じていました。また「教えてくれてありがとうございます」「〇〇さんまた来てね」と地域の方を身近に感じ、親しみをもって関わる姿に繋がりました。染めた布に墨汁で絵をかき園に飾り、保護者の方にも見ていただいたことで「地域にこんな取組があるのですね」と保護者の方々にも柿渋染めについての関心が広がりました。



## 【今年度のまとめ】

コロナ禍ではありますが、活動内容や方法を地域の方や、講師の方と相談しながら取り組んできました。環境整備や体験活動、ふれあい交流等は、子どもたちの心を動かし、人と関わる嬉しさや楽しさを感じ、豊かな心を育む機会となりました。また、講師を招き、英語や音楽を使って遊んだり、体を思いきり動かしたりする活動は、子どもたちの興味や関心を広げ、日々の遊びの中に取り入れる姿も見られ、意欲的に挑戦したり、積極的に取り組んだりする姿に繋がっています。

## 【来年度に向けて】

定着している活動を継承していくと共により豊かな経験となるよう、子どもたちの実態に合わせながら内容や方法を見直し進めていきたいと思います。また、保護者の方の事業や地域への関心が更に高まるように啓発を行い、園・地域・保護者が繋がりを広げ深めていくことができるよう取り組んでいきたいと考えています。